

植物の写真をうまく撮る際の‘役に立つかわらない’覚書 其の三の其二

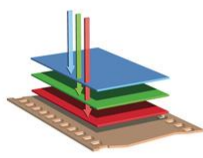
面白い画像センサー 前号で一般的な画像センサーの特徴について述べた。そして、銀塩フィルムとの違いについても触れることができた。ここでは、フィルムの特性を生かした面白い画像センサーについて紹介したい。

Bayer 配列に伴う利点でもあり、欠点でもある課題には、大きく2つある。①赤、青、緑を別々に取り込んでいる。②配列が規則正しい。①に関しては別々に取り込んでいることから、画素によっては取り込まれていない色がある。②に関してはモアレ（干渉縞）が発生しやすい。この②の問題を解決したのが、Fujifilm 社の X trans CMOS の構造である¹⁾。これとは別に Bayer 配列ではなく、あえて銀塩フィルムの3層構造をもとに開



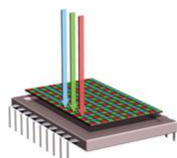
The Foveon X3® direct image sensor.

The only image sensor that directly captures full color in three layers, just like film.



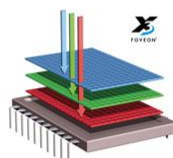
First came film.

COLOR FILM contains three layers of emulsion which directly record red, green, and blue light.



Then came digital.

TYPICAL DIGITAL SENSORS have just one layer of pixels and capture only part of the color.



Now there's Foveon X3.

FOVEON X3 direct image sensors have three layers of pixels which directly capture all of the color.

図1 Foveon X3 センサー

んでいる。そのため、フィルムライクな画像になりやすい（と思う）。サイトの画像アップで SIGMA 社の DP2 Merrill を使っている大きな理由は、ここにある。植物を素敵に撮るにはフィルムライクな画像がいいはずである（と思い込んでいる。別に当方は SIGMA 社の広報担当ではないが、個人的には SIGMA 社を応援していますよ）。銀塩フィルムを扱う唯一の会社である Fujifilm 社でもこのような3層構造のセンサーの開発を進めていたようであるが⁴⁾、実際にデジタルカメラとして製品化されているのは、SIGMA 社のみである。ちなみにサイトにアップした画像の中で、Foveon X3 センサーらしいものを図2に示す。実に陰影に富んでいる（と思い込んでいる）。

其の四では写真の構図について述べたい。

1) http://fujifilm-x.com/x-pro1/ja/story/chapter1/page_02.html（閲覧：2015.3.6）

2) http://ja.wikipedia.org/wiki/Foveon_X3（閲覧：2015.3.6）

3) http://www.picture-soup.com/wp-content/uploads/2010/07/X3_Film_Color.jpg（閲覧：2015.3.6）

4) http://www.fujifilm.co.jp/rd/report/rd052/pack/pdf/ff_rd052_001.pdf（閲覧：2015.3.6）

植
い
き
新
聞



植物いいきサークル

第51号

発行者:犬丸

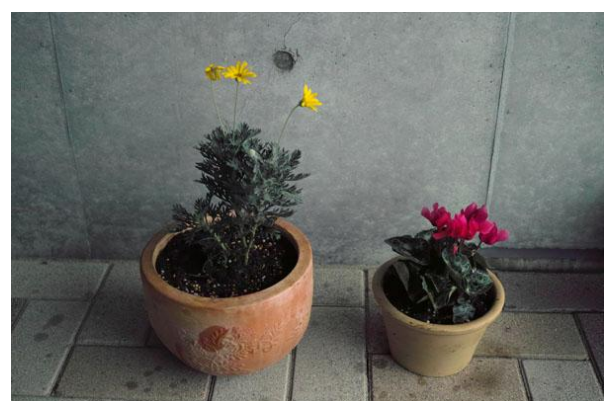


図2 花の画像